

1年生



6 30

多くの方が初体験のタグラグビーでしたが、インストラクターの方に四つゲームを用意して頂き、親子共々楽しく白熱した時間を過ごす事ができ、笑顔の親子行事になりました。

一年一組

2年生



7 18

鹿折少年ラグビースクールから講師をお招きし、昨年七月に行いました。沢山の御家庭に参加いただき、盛況となりました。関わりいただいた皆様、改めて御礼をお伝えします。

二年一組



4年生



10 20

三年生はお茶の手も体験をしました。お茶の葉をもんで、乾燥させてを繰り返してお茶になりました。茶葉を持ち帰ったので家でも楽しめました。いい思い出になりました。

三年一組

4年生

四学年委員長

理学療法士オガトレさんを講師に招き、親子でストレッチを行い、柔軟性が怪我防止に繋がる事、スポーツで力を発揮する為にも重要である事を楽しく学ぶことが出来ました。

四年一組



6年生



10 20

小学校生活最後のPTA行事は、親子で仲良く軽い運動を行い最後にはドッジビーで親子対決を身体で感じる事ができ楽しい時間を過ごす事ができました。

五年一組

六学年委員長

小学校最後の学年行事は、ドッジビーなど色々な運動をしました。ドッジビーでは、お家の人達に負けないように、みんなで力を合わせて頑張りました。

六年一組

3年生

三学年委員長

5年生

五学年委員長

「かなえ」二六八号の発行に御協力ありがとうございました。新型コロナが五類になり、子供たちがどれも活き活きとした姿で頑張る様子を載せることができました。特に気小まつりは四年ぶりとなり、広報部として笑顔の瞬間を残すことができました。うれしかったです。「かなえ」次号も楽しみにしていただきます。たいと思っています。

広報部長

部員紹介

- 広報部長
広報副部長
広報部員

気小PTA便り かなえ

268号/2024.3.15

かなえ

気小PTA便り



第百六十八号 令和六年二月十五日発行
編集発行/気仙沼小学校父母教師会広報部

印刷/三陸印刷

一五〇回目の

バトンつなぎ

PTA会長 斎藤 大悟

平素はPTAの活動にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。このたび本校では開校より一五〇周年を迎えました。私自身も卒業生で、三十年前に一五〇周年の時の在校生でした。一世代三〇年と考えると今の児童の五世代も前から長きにわたり地域の子供たちの学びの場となっています。

さて開校当初の児童ほどのように学んでいただでしょうか。未来の後輩

悠久の時を経て...

未来へ

校長 小野寺 貴子

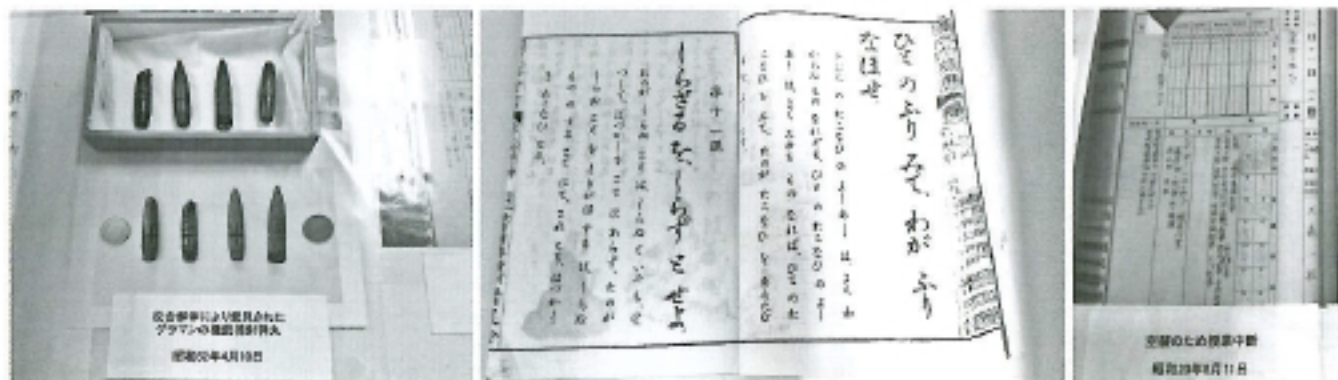
本校は明治六年に創立され、昨年令和五年一月二十六日に一五一年目となり、今年(令和五年)度は、創立一五〇周年記念事業を行うことができました。

一五〇年という長い歴史と伝統は、PTAや地域の皆様、歴代の校長先生を始め本校に勤務した教職員といたった多くの関係する方々によって積み上げられ、今に至っています。そして何より、いつの時代にもその主役である子供たちの元気な、保護者の皆様との愛情の二つ一つが建学の礎がりの地域と共にこの気仙沼小学校の校風をひいてきたのだと思います。

たちのためにちゃんとせねばならぬ、と意気込んでいたでしょうか。私はそうではなく、今の児童と同じように目の前の学校生活を全力で過ごし、そして楽しんでいただきたいと思います。今昔も変わらず、子供たちは懸命に学び六年間成長して卒業し新年度には新入生が入学する。先輩から後継にバトンを後継に渡す、その連続が一五〇周年を成らせたということかと思えます。本校では一五〇周年の区切りを迎えましたが児童の皆さんには、引き続き気負わずに毎日毎日の学校生活を全力で勉強し遊んで欲しいと思います。

とを、一五〇周年という節目、大切に保管されてきた資料を目を通し、整理をしながら改めて感じたところ。また、校舎の変遷、校歌の誕生、校舎前の大きな石が置かれた経緯等、二つ一つを紐解き、子供たちとともに確認できた。資料展示を記念事業として行えたことだけでも喜ばしいことでした。多くの卒業生を輩出し、気仙沼市の中心に位置してきた本校においては、歴史と伝統、そして誇りをこれからもつないでいけたらと思っています。

開校当時には考えられなかったAの進化など、急速に変化していく時代の中でも、未来を見据えつつ、「ここぞ学んでよかった」と通わせてよかった」と思ってもらえる気仙沼小学校であり続けたいと強く願っています。



野外活動の思い出
五年一組

私が野外活動で特に楽しかったことは、カレーライス作りです。みんなが食べるのおいしかったです。ウォークラリーも、暑かったけれど、とても楽しかったです。



9.28~29
野外活動

六年生になって登った安波山は、一年生の時に見た景色とはちがってきれいなだけではなく達成感を感じました。一年生と無事に楽しく登ることができてよかったです。

一年生とがんばった安波登山

六年一組



六ねんせいといのほったよ
一年一組

六ねんせいのみなさん、あんばさんへいっしょにのぼっていただき、ありがとうございます。ほくもみなさんのような六ねんせいになります。これからもがんばってください。



ぼくは、あんばまつりでスライム作りとプラバン作りとしゃてきをしました。青色のスライムとリアモーターカーのプラバンを作れてうれしかったです。来年も楽しみたいです。



9月15日
あんば祭り
二年二組

楽しかった
あんばまつり

気小まつり
四年一組

転校してきて初めての気小まつりでした。四年ぶりと聞いて、できてうれしかったです。年下の子にほしがるとおもちゃをゆずっていただけの人を見ただとてうれしいと思いました。



10月22日
気小まつり
三年二組

最高の気小まつり



連綿脈々

(昭和50年度卒)

私が小学校に入学した昭和45年当時、1学年六年級、全校児童1,803名でした。その広さと児童数の多さに驚き、圧倒されたものでした。お陰様に多くの同年代と恩師に恵まれ、そのご縁の多くは今日まで有り難く繋がっております。

50歳を目前にして、偶々、気仙沼小学校父母教団会に6年程ご縁を頂き、些か3年程会長職を務めさせて頂きました。当時、東日本大震災により被災し、母校を失った南小との統合という出来事がありました。その折には、両校の子どもたちの為には何が一番より良いことなのか？PTA活動、行事等、両校選出の後援が深く考える機会の多いものとなりました。

ここで、150年の歴史を思う時、学制改正後の卒業生18,731名、明治の創立以降からの卒業生は、4万人を越えるということなのです。その時代、年代に於いて大なり小なり、様々な出来事があり、それを経て現在に至っております。それぞれ、時代、状況、規模はたがえど、その連綿として積み重ねられてきたものが、伝統歴史となつてこれからも脈々として続いていくことを心より願っております。「開校150周年おめでとうございます。」

創立150周年にあたって

(昭和62年度卒)

気仙沼小学校創立150周年おめでとうございます。高学年の時、校舎の工事が始まりまして。東、西、旧校舎が解体され、諸先輩方が学んだ歴史ある学び舎、木のぬくもりあふれる学び舎がなくなるのは寂しい気持ちでしたが、新しい校舎、広い校庭ができることにワクワクしたのを覚えています。しかし、私の卒業後に完成し、妹たちが新校舎で過ごしているのが悔しかったです。

息子が入学し、行事で校舎に入ることができた時は、とてもうれしかったです。

私が在校時、創立記念の壁新聞を作成しました。今回、創立150年の記念の文を書け感慨深いです。私たちの母校「気仙沼小学校」のさらなる繁栄を願っています。

昭和19年の国民学校より

(昭和24年度卒)

昭和19年4月、気仙沼国民学校(小学校)に入学。この年の3月南町に大火があり、せんべい坂を越えて私の住んでいた港町地区(現在は魚市場前)に遠く北西の風に吹かれて火の粉が飛んで来て、夜中だったとしても怖かったです。父はバケツの水でその辺にかけて退いたことを覚えています。

2年生になると、東京など大都市の米軍の空襲が激しくなり、私たち小学生は、綿の入った防空頭巾と、救急袋も肩にかけ、その中には包帯や傷薬、油紙、三角布が入っていた気がします。登下校は学校に登坂毎に旗を持った高等科の人について並んで行動しました。2年生の時の8月9日、自宅近くに爆弾が落ちて家は焼失しました。その日夕方、近くの防空壕から出て、両親や兄弟五人(長男は海軍兵学校に行っていた。)は、1才の弟は母におんぶ、次兄、私、弟、妹と夜道を歩いて松岩面瀬の母の叔父さんの家へ行き世話になりました。8月15日の終戦の日を迎えても、75日間暮らさせてもらい、その間学校へ行く次兄と私は港に住む親戚の家に世話になりました。程なく父は以前の家から少し離れたところに家を借りて、自宅を建て直す事になりました。私は小学3年生になっていました。

令和の気仙沼小学校より

2年

お父さんは、わたしが学校から帰ってくると、「今日は学校どうだった?」「給食なに食べた?」と毎日聞いてくる。わたしはハヤシライスとあたたかいスープが大好き。お父さんが小さいころは、チキンみそカツ、パックに入ったラーメン、がぼちゃプリン、ふかひれスープが大好きだったらしい。わたしが知らないメニューばかり。かわらないことは、パックの牛にゅうと、ぎんのカンカンに入ったあたたかいごはん。それからきゅう食が楽しみな気持ち。いただきます!!



コラム

「コよんこ」。令和の今、聞き慣れない言葉がPTAだより「かなえ」のコラム欄のタイトルとなっている。改めて遡ると、昭和三十五年第四十一号から、「コラム欄は「こよんこ」である。当時「コラム欄の名付けを本校の保護者でもあった気仙沼市立図書館初代専任館長の 氏 にお願した。氏は即座に「こよんこ」と名付けた。「こよんこ」とは、メダカの方言で

のこと。メダカの方言数は全国で二千五百九十九もあって、魚類中の王座を占めており、「こよんこ」は気仙沼だけで、「まぎに天下一品の方言」のこと。氏はこの珍しい方言を大事にするために、「コラム欄の名前に選んだのだぞう。昭和二十五年の第二号から原本が残っている「気仙沼小PTAだより(昭和四十五年)には開校百年を記念し「かなえ」と名称変更の「コラム欄の「こよんこ」今後も大切にしていきたいものです。(校長 小野寺)



展示参観

